

SCOUTING

2023
No.754
3

特集

これからの プログラムランドデザイン

—各コミッショナーからの提言—

ワクワク自然体験あそび

2022年度 全国スカウトフォーラム開催報告

CONTENTS

02 これからのプログラムグランドデザイン

06 得意を持ち寄ってスカウトの活動を支援します

08 [監査] 第24回 全国スカウトフォーラム

09 RCJ フォーラム

10 ボーイスカウトと遊ぼう!
ワクワク自然体験あそび

12 2022年度スカウトの日
～ブラごみバスターズ大作戦～

14 先達に学ぶ、ボーイスカウト日本連盟100周年

16 日本連盟創立100周年記念基金に
ご寄付をいただいた方

16 難民支援衣料回収プロジェクト

17 2023年度 全国大会開催概要

17 信仰奨励

18 ローカルホットライン

18 スカウトの夢

20 野外活動のための安心・安全講座
安全な自転車利用のために…

21 維持会員

22 [監査] キャンプ場ガイド

23 スカウトショップ

これからの プログラムグランド

総コミッショナー

村田 禎章

令和4年4月1日をもって日本連盟理事会等の体制が変更され、スカウト、指導者の教育施策関係については教育推進本部が担当することとなりました。教育推進本部は総コミッショナー、国際・プログラム・AIS*各コミッショナー、特命コミッショナー、ブロック統括コミッショナーにより編成され、一体的な教育施策の策定及び展開を担うこととなりました。

全体のプログラム推進の方向として、2017年の世界スカウト会議におけるスカウティングの使命声明を受け、地域社会の関わりを重要な活動のひとつとして位置付け、プログラムの開発に着手いたしました。ビーバー、カブだけでなく、ボーイ以上、指導者も含めて参加しやすい（誰もが参加したいと思う）スカウト運動の確立を目指しています。そのような意味からも、特に青年の参画に力を入れてまいりました。

一昨年、世界スカウト機構（WOSM）が実施したGSAT（グローバル・サポート・アセスメント・ツール）による指摘事項への対応・改善については、国際コミッショナーの指導のもと、国際担当者連絡会（各委員会による横断的な連絡会議として設置）を中心に教育推進本部、各委員会によって取り組みを行っています。

青年の参画に向けて、全国各団の実情把握とサポート計画の検討、そのためのデータ作成等は、

教育推進本部の直接取り扱う事項として特命コミッショナーが推進しています。地域社会との関わりを深め、本運動の社会的価値の向上を目指しています。ローバー部門のプログラムにスカウトたちが取り組みやすくするため、全国的なサポートのネットワーク、実施した活動を認証する仕組みの双方を整備し、ローバースカウトの自発的な、専門性の高い活動に対応できる体制を構築していきます。また、ビーバーからベンチャーまでの各部門においても進歩・進級課目を整理し、現代の実情に合った隊運営、プログラム開発に着手しています。

AISについては、AISに関する世界方針の日本版ともいえる「指導者養成に関する指針」をもとに適切かつ現代的なサポートとトレーニングの仕組み作りで着手しています。従来からの「加盟員」という枠組みだけでなく、本運動を取り巻くあらゆる成人（地域の協力者等々）の役割や位置付けを明確にし、さらに本運動への支援が得られるよう新登録制度の主旨を活かした協力体制の構築に寄与していきます。

これらの施策については、各委員会、教育推進本部だけでなく全国県コミッショナー会議、各ブロックでの県コミッショナー会議等においても十分な協議をいただく体制を構築しつつあります。

今後とも教育推進本部の事業実施にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

* AIS: Adults in Scouting…スカウト運動における成人の取り組みについて、人材の発掘から、資質の向上、活動の評価や組織運営等も含めた「ライフサイクル」という概念を用いた、スカウト運動を支援する仕組み、またその考え方。



デザイン

総コミッショナーから示されたいくつかの方針に則り、教育推進本部会合での意見をもとに、プログラム委員会では各部門のプログラムを現代の課題や環境変化に合わせて、見直しを進めております。特に今年度は、ローバー部門を重点として取り組んでおり、スカウトに地域社会や世界につながりを深めてもらうための支援として「ローバーアカデミー」というネットワークの構築に着手しました。

今年度から、WOSMのAIS世界方針に則り、AIS委員会では、指導者だけでなく、スカウトをとりまくすべての成人への支援を行うことを目的に、それが効果的に達成されるための訓練などを適切に行う方策の検討を行っています。こうした成人への支援は、スカウトへの最適なプログラムを提供することを目指しております。トレーニングの仕組みづくりについて、内容や手法のほか、提供方法についても見直しを行い、e-ラーニングやWebを活用したトレーニングシステムの導入

スカウティングは、世界の私たちの仲間が同じ基準で若者の未来を形作る運動です。世の中が目まぐるしく変化する中、WOSMも常に変化を求められ、その方向性を日本連盟が共有し、実行することが求められております。WOSMが提唱する本運動において、「青少年プログラム方針」、「青少年参画方針」、「成人に関する世界方針」、「セーフ・フロム・ハーム世界方針」といったものを基盤としてさまざまな取り組みが採択されています。これらを含めて13のキーワード*があり

※<https://services.scout.org/about>

※13のキーワード: Youth Programme, Youth Engagement, Adults In Scouting, Diversity & Inclusion, Better World Framework, Safe From Harm, Spiritual Development Moved Under Youth Programme, Scouting & Humanitarian Action, Global Support Assessment Tool (Gsat), Good Governance, Communications, Growth, External Relations

プログラムコミッショナー

川瀬 政美

ボーイスカウト向けのプログラムにSDGsの要素を取り入れていく具体的なヒント集を作成、また、カブスカウトの保護者向けの資料を制作するなど、隊指導者の方々へ支援するツールの開発を行っております。各部門の教育・活動の目標を見据えつつ、時代の変化に沿ったプログラムの内容や提供方法についても引き続き検討を進めてまいります。

AIS コミッショナー

栗田 哲郎

も検討しています。成人へのサポート体制について、時代に即した形に見直すために、県コミッショナーとの連携も欠かせません。

プログラム委員会が実施しております「ローバーアカデミー」は、まさにAIS世界方針を受けて施策のひとつとして開始されたものであります。組織内外の人々の人的ネットワークを構築して、AIS委員会とプログラム委員会が両輪となって、スカウトへの支援を引き続き、行ってまいりたいと考えております。

国際コミッショナー

松平 頼昌

ますが、その中でも近年特に意識されているものは、「社会との協同」の分野、「人道的支援行動」、「ガバナンス」を挙げることができるといえます。指導者の皆様におかれましては、世界中の仲間がどういった行動をしているか、より積極的に情報を集めて、この運動に参画する子どもから大人までが、それぞれの成長を促す取り組みを行うことへのご尽力を賜りたいと願っております。



各部門の青少年プログラムの取り組み

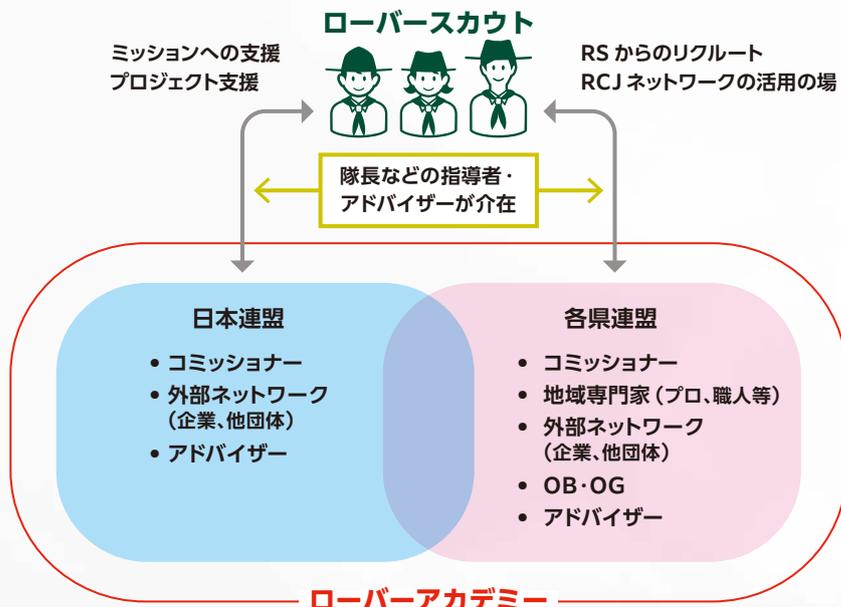
各部門において、現代の課題や環境変化に合わせたプログラムの見直し作業を進めています。今号では、今年度プログラム委員会において検討してきた、カブスカウト部門の保護者に対する情報発信の提案のほか、ボーイスカウト部門、ローバースカウト部門の活動のヒントをご紹介します。

■ ローバーアカデミー【ローバースカウト部門】

スカウト運動の創始者ベーデン・パウエルは、スカウトに宛てたラストメッセージに、“the real way to get happiness is by giving out happiness to other people.”（幸せを手に入れる本当の方法は、人に幸せを分け与えることである）と書き残しています。スカウティングとは、自らを律して他人に対する愛と奉仕ができる能力を身につけることです。スカウト教育の最終段階であるローバースカウトの活動目標には、自己の確立・運動への奉仕・社会貢献の実践について示されています。こうした経験を通じて、地域社会や国際社会に貢献する人材となることを目指すものです。

ローバースカウトの活動の本質として、やりたいこと「needs: ニーズ」ではなく、やらなければならないこと「mission: ミッション」の発意につながってほしいとの思いから、さまざまな形でローバースカウトの社会貢献活動を支援する仕組みを構築しています。それがローバーアカデミーです。

ローバースカウトが活動や課題に取り組むとき、時には専門的にかなり深く掘り下げる必要があることもあります。そのような場合、身近に専門家がいなくても、日本中のローバースカウト隊・団と繋がることでネットワークを構築し、多様な人材がローバーリングを支援することにつながります。



ローバーアカデミーとは：スカウト支援のための人的ネットワーク

ローバースカウトのミッションをさまざまな形で支援する専門家・アドバイザー・コミッショナー・支援者 (RS の OB・OG) による、全国支援の人的ネットワーク。



2022年度中に試行した公開セッションの様子

■ スカウトプログラムヒント集【ボーイスカウト部門】

日本連盟では、全団調査の結果を、各部門の実態把握やプログラムの施策提案に活用しています。プログラム委員会では、全団調査の結果から、登録人数により1班のみで構成されるボーイ隊が全体の約40%を占めていることに着目し、少人数でも実践できるスカウト活動の取り組みについて検証してきました。

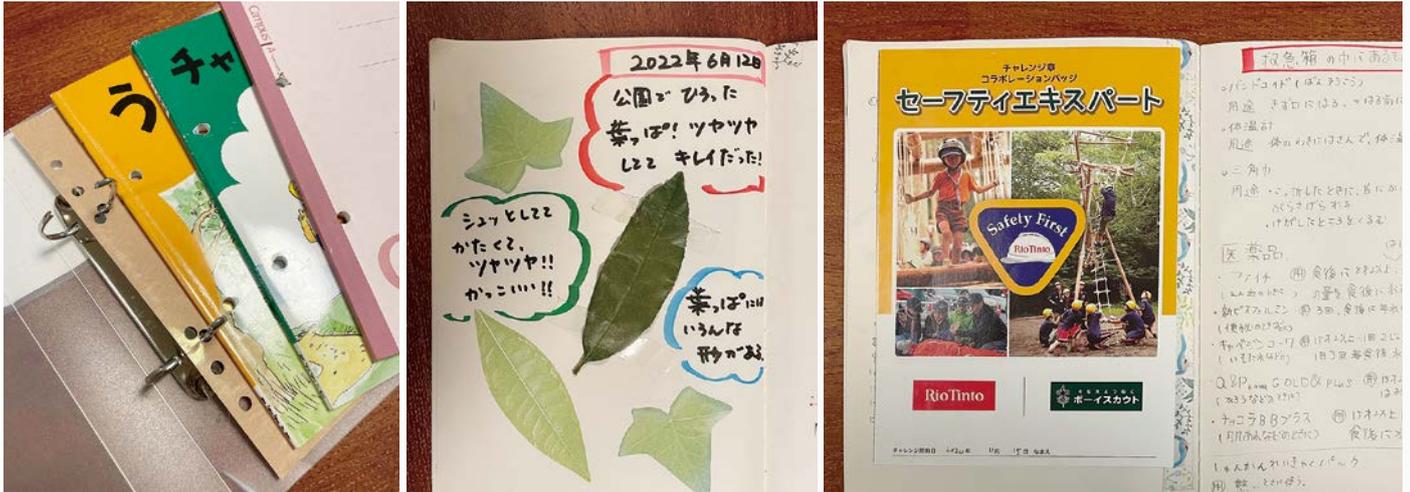
日ごろの班活動においてスカウトスキルを身につけ、隊活動でそのスキルを発揮します。ボーイ隊においても社会に奉仕できる能力、人生に役立つ技能の体得につながる活動を展開すこ

とで、おのずと進級課目が履修できるような活動の実践が求められます。

この度、社会との連携、SDGsの達成、防災等の世界課題への取り組みに着目し、全ての隊で展開できる指導者向けの「プログラムヒント集」を作成しました。指導者の皆さんに活用いただくほか、ボーイ隊の班長が主体的に活用して班集会で実施することもできます。ヒント集は、ボーイ隊向けに作成していますが、その要素は他の隊でも活用できます。本資料は、日本連盟 Web サイトからダウンロードできるようになる予定です。



■ スクラップブック【カブスカウト部門】



市販のファイルに自分の活動した証を保管していくことで、スカウトの記録だけでなく、保護者を変えて成長を実感できる思い出の一冊に。

日ごろの組や隊の活動で、カブブックやチャレンジブックに記入するだけでなく、何かを調べた記録や、自作や収集した作品など、多くの収集物が手元に集まります。皆さんはスカウトの作品をどのように保管していますか。家で披露するタイミングがないとスカウトのハバザックの中で埋もれていたり、家で保管しようにも作品をため続けられればもたふれてしまいます。進級や進級の際など、いざ見返そうと思った時どこにあるかわからないという状況が往々にしてあるかと思えます。

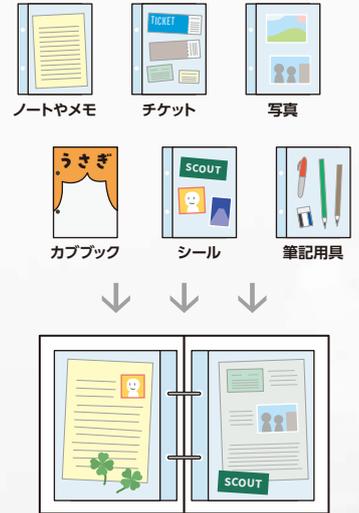
一方で、これらの作品はスカウトの成長の記録。スカウトにしてみれば、数年前の自分を振り返ることができる、保護者や指導者の皆さんにとってはスカウトたちの成長を実感できる大切な思い出です。カブブックでは管理しきれない配布資料や自分の作品、時には写真など、スカウトの

進歩・成長の記録の管理の仕組みとして、「スクラップブック」にまとめてみませんか。

活動で作ったものや、観察で収集したものや写真など、スカウトのそれまでの活動記録を見える化することで、保護者や指導者とのコミュニケーションの促進や、スカウト自身が振り返りをするツールとして活用いただけます。

自分だけのスクラップブックを作ることで、今後のスカウト活動で大切な計画や報告をまとめていく練習にもつながります。隊の中でのコミュニケーションのきっかけとして、保護者の方にもさらにスカウト活動のファンになっていただけたらと思っています。

※スクラップブックは資料管理方法の一案であり、スカウト用品の販売はありません。市販のファイルなどを使って各隊で自由に制作していただけます。



自分だけの
スクラップブックを作ろう!

説明会のご案内

各部門の検討内容や各種資料の活用のヒントを、オンラインや対面で情報発信しています。多くの方のご参加をお待ちしております。

申し込み方法などは日本連盟 Web サイトでご案内します。

お宝発見！ボクのスクラップブック!! (カブ隊指導者・デンリーダーなど/オンライン説明会)

日時：2023年3月26日(日) 19:00~20:30 方法：オンラインによる開催
テーマ：活動の記録を楽しく保存するスクラップブックのねらいや実際の作り方・使い方

スカウトプログラムヒント集 活用説明会 (隊指導者・プログラム委員など/オンライン説明会)

日時：2023年3月19日(日) 19:00~20:30 方法：オンラインによる開催
テーマ：環境や防災プログラムに役立つ内容を含むプログラムヒント集のねらいや詳しい活用法

ローバーアカデミー第3回公開セッション (ローバースカウト・隊指導者など/オンライン併用)

日時：2023年4月15日(土) 14:00~16:00 場所：京都・京都テルサ
テーマ：ローバースカウト活動の指針や課題発見のヒントを各分野の専門家とセッション

得意を持ち寄って スカウトの活動を 支援します

スカウトの活動は、多くのさまざまな成人によって支えられています。しかし、スカウト活動は指導者が全てを担っている、そう勘違いしていませんか？

皆さんの周りには、いろんな【得意】を持った地域の人々があります。

これまでも発信してきた成人の関わり方に、地域で活躍する人々、保護者やスカウト経験者がつながる機会という視点を加えた、日本連盟における「スカウト活動を支える地域の関わり方」を説明します。

そもそも AISって
何なんですか？



AISは「Adults in Scouting」の略で、「スカウト運動に携わるすべての成人」という意味なのね。そして、AIS 世界方針は、その携わっていただける成人の方々に尊重して大事にするための考え方と、そのための具体的な支援・指導と運営について、「こうやっていこう！」という方針のことなの。

支援・指導と運営については、下の図にある「成人のライフサイクル」がわかりやすいので、一緒に見ていきましょう！



■ スカウト活動を支える地域の関わり方

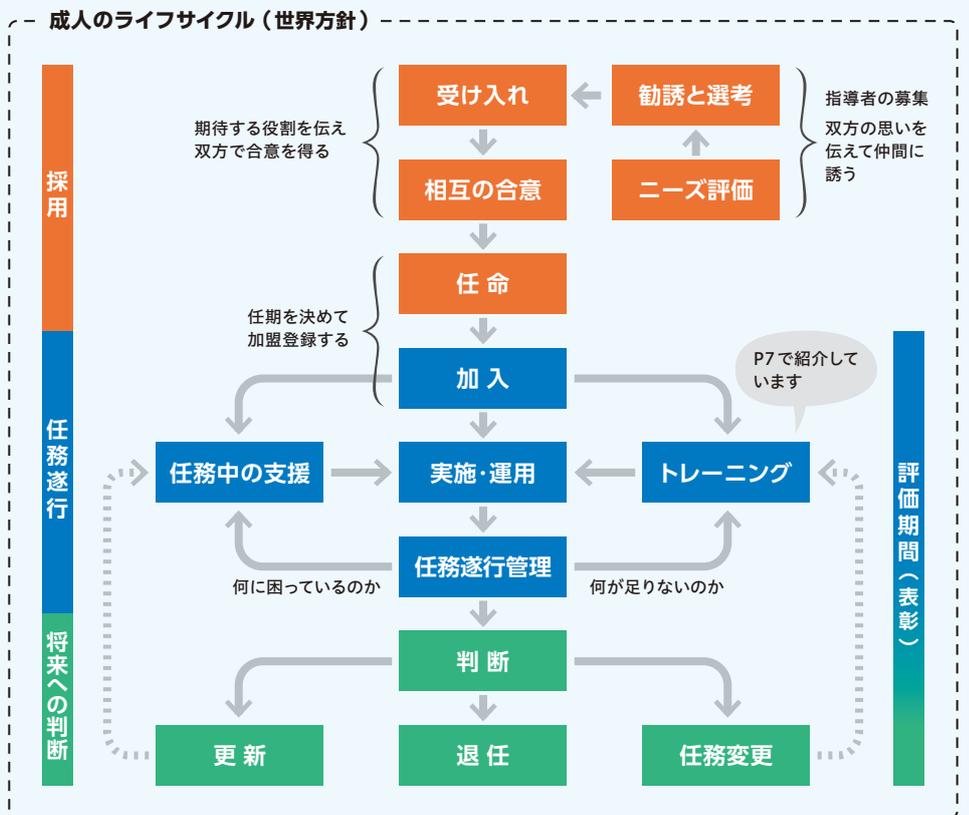


地域の人たちに相談するといいわよ。

相談 協力依頼

うーん、困ったなあ

- ・ キャンプの資材、どうやって運ぼうか。
- ・ 活動のための資金が少し不足しそうだな。
- ・ こんなスキルを教えてくださいな、近くにいないかな。



全体を見ると大事なことが分かって、
もう一度見直してみる必要があるわね。



■ スカウトの成長はあなたの研修から!!

世界スカウト機構 (WOSM) が提唱する AIS 世界方針 (Adults in Scouting World Policy) では、「スカウトの教育、成長のためには成人の関わりが不可欠である」といっています。指導者がスカウトとともに活動をし、さらに研修や研鑽を重ねることで自分自身も成長し続けていくことが、スカウティングの世界共通のポリシーです。

ボーイスカウト講習会

ボーイスカウト講習会は、スカウト活動に関わり始めた方やスカウトから指導者へと進んだ方をはじめとして、スカウト運動に興味を持たれた方を広く対象として、県連盟が開設します。1日の研修の中で、野外でのハイキングやゲームなどを実際に体験して学んでいただく内容になっています。スカウトたちのために、仲間とともにボーイスカウト運動の入り口に立ってみませんか。

基礎訓練 (ウッドバッジ研修所、団委員研修所)

上級訓練 (ウッドバッジ実修所、団委員実修所)

隊や団の指導者の方には、活動を進めるためのさまざまな知識や技能、心構えを修得するための研修があります。特に基礎訓練は、隊や団の指導者に必須の研修であり、体験を通じて楽しい活動やスカウトの成長を促す活動を学びます。また、基礎訓練を修了し、一定の経験を積んだ指導者に向けて、上級訓練を開設しています。スカウトの活動のため、そして自分自身の成長のためにも、上級訓練を目指してスカウトとともに活動していきましょう。

ウッドクラフトコース

ボーイスカウト教育を効果的に進めるための場が、野外で行うキャンプです。ウッドクラフトコースは、そのキャンプの醍醐味とスカウト教育の本質を体得していただくための研修です。隊指導者上級訓練修了者を対象にした5泊6日のキャンプ生活の中で、さまざまな野外活動とプログラム展開を体験します。スカウト活動の醍醐味であるキャンプの楽しさをスカウトに伝えられるよう、ぜひ研修にご参加ください。

コミッショナー研修 (ベーシックトレーニング、任務別研修)

コミッショナーは、すべての指導者に支援を行うため、さまざまな研修に取り組みます。社会の変化や実情に合わせた支援を行うため、コミッショナーの訓練を見直しました。既存の訓練を修了した方も、新しい時代に合わせたコミッショナーの訓練に取り組んでみてはいかがでしょうか。

■ 令和5年度 日本連盟開設訓練コース予定一覧

隊指導者上級訓練 (ウッドバッジ実修所)

No	課程	期数	期間	場所	申込締切日
1	BVS	第47期	9月15日(金)～9月18日(月)	那須野営場(栃木県那須塩原市)	8月10日(木)
2	CS	第177期	5月4日(木)～5月7日(日)	那須野営場(栃木県那須塩原市)	3月24日(金)
3		第178期	9月15日(金)～9月18日(月)	静原キャンプ場(京都府京都市)	8月10日(木)
4	BS	第205期	5月3日(水)～5月7日(日)	新城・吉川野営場(愛知県新城市)	3月24日(金)
5		第206期	5月3日(水)～5月7日(日)	布都美林間学校(岡山県赤磐市)	3月24日(金)
6		第207期	11月1日(水)～11月5日(日)	兵庫県立嬉野台生涯教育センター(兵庫県加東市)	9月22日(金)
7	VS	第33期	10月5日(木)～10月9日(月)	高萩スカウトフィールド(茨城県高萩市)	8月25日(金)

団指導者上級訓練 (団委員実修所)

No	期数	期間	場所	申込締切日
1	第32期	7月15日(土)～7月17日(月)	埼玉県県民活動総合センター(埼玉県北足立郡)	6月9日(金)
2	第33期	11月3日(金)～11月5日(日)	新大阪ユースホステル(大阪府大阪市)	9月22日(金)
3	第34期	11月24日(金)～11月26日(日)	福岡県立社会教育総合センター(福岡県糟屋郡)	10月20日(金)

ウッドクラフトコース

No	期数	期間	場所	申込締切日
1	第3期	10月4日(水)～10月9日(月)	キャンプおおさか(大阪府枚方市)	8月25日(金)

副リーダートレーナーコース

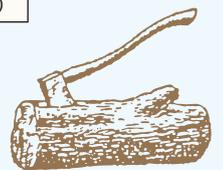
No	期数	期間	場所
1	第67期	6月21日(水)～6月25日(日)	那須野営場(栃木県那須塩原市)

リーダートレーナーコース

No	期数	期間	場所
1	第42期	7月5日(水)～7月9日(日)	那須野営場(栃木県那須塩原市)

※ 令和5年度の県連盟開設コース(ウッドバッジ研修所、団委員研修所、コミッショナー研修)の予定は、日本連盟 Web サイトをご覧ください。

https://www.scout.or.jp/member/establishment_schedule2023/



報告 第24回 全国スカウトフォーラム



スカウト運動の原点である「スカウトたちの声に耳を傾け、その意見をスカウト運動に反映させていくこと」を実践し、「青少年の意思決定への参画」がより推進されることを願って開催した全国スカウトフォーラム。今回、オンラインで事前集会を実施後、対面でフォーラムを開催し、企画から運営までローバースカウト年代の運営委員が中心となって展開しました。

- 期 間 事前集会／2022年12月17日(土) 17:00～19:30(オンライン)
フォーラム／2022年12月24日(土)～26日(月)
- 会 場 川崎市青少年の家
- テーマ 新しい100年に向けてスカウトは何をすべきか

- 参加者 県連盟代表 41 県連盟ベンチャースカウト41人
- スタッフ 全国スカウトフォーラム運営委員 10人、日本連盟プログラム委員 5人
- 協力 関口 昌幸 氏(神奈川県・横浜市政策局共創推進課) 事前集会での基調講演、フォーラム当日のグループワークを担当



1日目 開会式、グループワーク

事前集会のオンライン基調講演で、地域課題の解決に向けた取り組みを聞いたスカウトたちは、その深掘り方法や、普段の活動で起こりうる課題に対する原因追究や解決に対するプロセスについて体験しました。

2日目 県フォーラム発表、分科会、世界フォーラム報告

前半は、各グループの代表者による県フォーラムの発表をワールドカフェスタイルで行い、各県での取り組み、地域ごとの状況や課題を共有しました。

その後、フォーラムテーマについて6つのグループで分科会を実施し、そこから得られた課題とその解決方法を整理しました。グループの代表から議長団を選出して、翌日の全体会を準備する傍ら、2年前の世界スカウトユースフォーラムに参加したスカウトから、当時の様子やローバーの活動の面白さ、広がりについて話を聞きました。

3日目 全体会 [宣言採択]、閉会式

最終日は全体会を開き、フォーラム宣言の採択に向けて全員で討議しました。宣言は、議長団議長より、川瀬プログラムコミッショナーへ手渡されました。

■ スカウトフォーラム宣言

「時代とともに変化する課題」を解決するうえで、活動の目的を明確化しよう

今回のスカウトフォーラムでは、全国一律で実施するアクションプランはその場では採択せず、スカウトの所属する県連盟や地区、団などそれぞれの地域でフォーラムでの検討事項を具現化した活動につなげていくことを願い、参加者全員で「スカウトフォーラム宣言」として採択しました。フォーラム実施後の1月から、早速全国でアフターフォーラムが開催されています。

■ フォーラム運営委員長のことば



運営委員長
荒田 恭平
東京連盟
八王子第12団

全国スカウトフォーラムは、選出された代表が集まり2年に1度開催される、一握りのスカウトしか参加できない場所です。その貴重な経験を最高のものにするために、代表スカウトにどんなことを学んでほしいか、どうしたら有意義な時間になるかを約4か月かけて計画してきました。

本フォーラムは、全国から集まったローバースカウトが運営しており、10数人という限られた人数のローバースカウトしか経験することが出来ません。今回参加した代表スカウトが、将来そのチャンスを掴んでくれることを願います。

末筆ながら、各県連盟代表ベンチャースカウト、運営委員とそれを裏で支えてくださった日本連盟プログラム委員と事務局の皆様、そして、それを可能にしてくださいました各県連盟の皆様、全ての方々に感謝申し上げます。

採択した「スカウトフォーラム宣言」の説明資料、フォーラム概要報告などは、日本連盟 Web サイトに掲載しています。実施報告書も代表スカウト宛に発送後、掲載する予定です。当日の様子の写真も含めて、ぜひご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/member/24sf/>



RCJ FORUM 2022

参加者募集中
締め切り迫る！

指導者の皆さまへ

以下はローバースカウトに向けて制作された、今年度のRCJフォーラム2022の記事です。ぜひご一読いただくとともに、所属されている団、地区、県連盟のローバースカウトへ、RCJフォーラム2022についての周知・拡散を宜しくお願いいたします。

【日経】2023年03月19日(土・日)
【日経】2023年03月19日(土・日)

RCJ FORUM 2022
SCOUT ASSOCIATION
OF JAPAN

ネ HAS GREAT POTENTIAL

【テーマ】
ネ has great potential

【開催形式】
オンライン「oVice」使用

今回のRCJフォーラムは、様々な社会課題を通じて、ローバースカウト年代の私たちが取り組まなければならない問題のプロジェクトを練っていきます。
期間中には「プロジェクトアイデアコンテスト」も開催されます。
オンラインの可能性をフル活用したオンラインの参加してみませんか？
フォーラムに参加してみませんか？

実行委員長よりあいさつ

皆さんは「ネ」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか？ ネッカチーフを思い浮かべたあなたは……少し外の空気を吸ってリフレッシュしたほうがいいかもしれません。さて、ローバースカウトの皆さん。今回はoVice(オヴィス)というバーチャル空間ツールを使用してオンラインで開催します。社会課題に目を向け、意見を交わし合う討議プログラムはもちろんのこと、友情というネットワークを広げるための交流プログラムも用意しています。ウィズコロナの取り組みが進み、全国の仲間たちと対面で会える機会がこれから増えていく前に、仲間を作っておきませんか？ また、プログラムの一つとして、プロジェクトアイデアコンテストを行います。皆さんとバーチャル空間で会えることを楽しみにしています。令和4年度の活動をRCJフォーラムで締めくくりましょう！

愛知連盟 名古屋第12団 佐野 佑樹

プロジェクトアイデアコンテストについて

RCJフォーラム2022内にて、全国のローバースカウトが考案した「プロジェクト企画書」を募集し、優秀な企画をコンテスト形式で表彰します。

また、専門分野の知識を持つ社会人の方々から、応募者全員がフィードバックをいただくことができる機会とします。

当事業は、近年のローバースカウトの課題である、社会との繋がりに欠ける点を打開するべく発案されました。内向きになってしまいがちなローバースカウト活動の社会的価値を向上させたいという想いがあります。「社会からの視点」でプロジェクトの企画を評価していただくため、企画そのものが持つ「社会への貢献度」を重視した評価基準を設ける予定です。

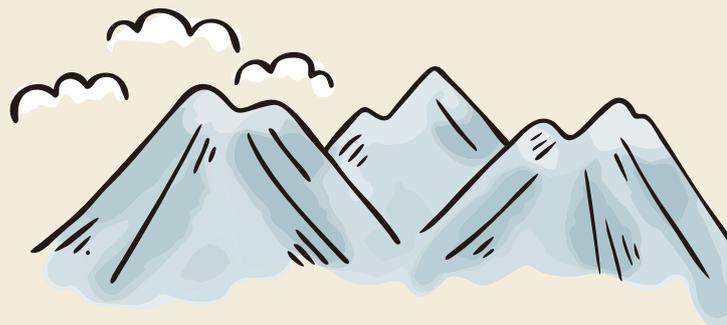
多くのローバースカウトの実活動に繋がる機会になることを期待しています。



RCJフォーラム2022の詳細は、
特設 Web サイトをチェック！
要項、申込みこちらから

<https://rcjweb.jp/rcjforum2022>

ボーイスカウトとあそぼう！
 ワクワク
自然体験あそび



今年度で3年目となる「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび」は、年間を通じて実施できるようになったこともあり、46県連盟から、多くの開催のエントリーを受けています。ビーバースカウト、カブスカウトの新規加盟登録者数も少しずつではありますが増加傾向であり、この事業を含めた多くの団の取り組みによりこの運動の主旨を地域へ普及することと、新規加盟員への誘いに一定の効果が表れ始めました。

■ 実施会場数と参加した子どもの数／ビーバースカウト、カブスカウトの新規加盟登録者数

	2020年度		2021年度		2022年度
会場数	512会場	→	328会場	→	776会場
参加児童数	11,753人	→	6,366人	→	10,469人 (申込者数)
ビーバースカウトの新規加盟登録者数	3,777人	+568人	4,345人	+116人	4,461人
カブスカウトの新規加盟登録者数	1,523人	+519人	2,042人	+230人	2,272人

※2022年度は全て1月31日現在

2023年度
ワクワク自然体験あそびのお知らせ

「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび」は、2023年度も日本連盟の継続事業として実施します。また、本年度（2022年度）より年間を通じて実施できるようになりましたので、年度をまたいでの募集も可能となりました。エントリーシステムも、皆さまの声を反映するよう機能追加を行って、より使いやすくなります。ご期待ください。



■ 今後のスケジュール

- ① 県連盟向け説明会 2023年3月5日（日）同じ内容で2回説明会を行います。
 第1回 10:30～11:30 / 第2回 13:30～14:30
- ② 追加される機能（予定）
 - ① 事業登録で指定した定員に達すると、自動で申込み停止となります。
 - ② 募集開始日時を指定できます。（未指定の場合は、事業登録時に募集を開始します）
 - ③ 事業の申込者全員に一斉メールを送信する機能を追加します。
 - ④ 事業登録内容の変更依頼フォームを追加します。
- ③ エントリーシステム停止（お知らせ）
 メンテナンスのため以下の期間エントリーシステムを停止します。
 2023年3月30日（木）9:00～4月1日（土）9:00
 ※詳しくはワクワク自然体験あそびインフォメーション2号をご覧ください。
scout.or.jp/member/wakuwakustaff2022/



■ ワクワク自然体験あそび事例

事例1



広島県連盟広島地区 広島第8団

「やってみよう 見てみよう」

日時／令和4年10月30日(日) 10:00～12:00
 場所／谷の百合幼稚園
 参加人数／13人(対象 小学校1年～3年生)
 内容／学年別に分かれてツイストパン作り

スタッフで開会式を行った後、参加者のプログラムがスタートしました。ボーイ隊のスカウトとビーバー隊の保護者で受付をし、団のアットホームな雰囲気が感じられました。小さな団ですが、団全体で参加者を迎えようとする雰囲気が伝わってきます。

スカウトが指導しながらツイストパンの生地をこね、棒に巻いて焼いています。手軽なプログラムですが、参加者にとっては楽しい体験となりました。

広島地区では、全ての団のワクワク自然体験あそびを盛り上げようと、各会場には地区全ての団の隊集会の予定や集会概要、育成会費など必要経費に関する情報などをまとめて配付しています。また、参加者アンケートはQRコードを読み取るスタイルで、回答は地区の組織拡充委員会で取りまとめて団へフィードバックする仕組みのため、団の負担軽減につながっています。



事例2



広島県連盟呉地区

「サバイバル 火起こし体験」

日時／令和4年10月30日(日) 10:00～12:00
 場所／呉市野外活動センター(つつじヶ丘キャンプ場)
 参加人数／14人(対象 小学校4年～6年生)
 内容／スカウトのキャンプサイト見学、火起こし体験、カートンドック作り

カブスカウトと参加者でグループを作り、スカウト流のキャンプサイト見学、火起こし体験、カートンドックの調理と試食を行いました。

①キャンプサイトの見学は、指導者とスカウトが説明を行い、スカウトが作った三脚テーブルを紹介しながら、スカウトになるとできるようになることをアピールしました。最後にスカウトからロープで手作りしたキーホルダーがプレゼントされ、参加者は喜んでいました。キャンプサイトには、色々なキャンプグッズも置いてあり、保護者の興味を引いていました。キャンプブームもあり保護者の関心も高いと感じました。

②火起こし体験は、マッチ、マグネシウムファイアスタータ、舞切り式火起こし器の体験を行いました。参加者や保護者の多くは初めての体験だったようで、好評でした。対象年齢により少し高度なプログラムも可能で、スカウトの野営技能の一端をみせるよい機会になります。

③カートンドック作りは、ドックパンに千切りキャベツやソーセージをはさんでアルミホイルで包み、牛乳パックに入れて着火するだけの調理のできるため、簡単でおいしいと保護者から好評でした。

カブスカウトと参加者が、同じグループでプログラムに挑戦したり、カートンドックを作って一緒に食べるたりすることで、スカウト活動に興味を持ってもらうきっかけになっていると思います。



2022年度 スカウトの日 ~プラごみバスターズ大作戦~

2022年7月11日(月)~11月7日(月) / 集中実施日9月19日(月・祝)

■主催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
■協賛 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

■協力 株式会社セブン-イレブン・ジャパン
■後援 文部科学省、厚生労働省、環境省

■全国各地のバスターズにありがとうを

スカウト、指導者や保護者、この活動に賛同した地域の皆さんにより、全国各地でプラごみバスターズ大作戦が実施されました。今年のごみ拾いはごみ拾い SNS アプリ「ピリカ」を活用して、拾ったごみの場所や数、取り組んだ人数を集計。特設サイトからは一般の方々、地域へも情報発信してきました。全国各地で大活躍のプラごみバスターズたちに、たくさんの「ありがとう」が届いています。



■世界のスカウトへ取り組みをシェア

世界スカウト機構 (WOSM) では、Web サイトで各国のスカウト・指導者の SDGs の取り組みを紹介しています。今回のプロジェクトでは、「ピリカ」などデジタルツールを通じて拾ったごみの数や参加人数などの各種データを WOSM へ報告し、世界中の仲間たちとシェアします。#scouts4sdgs、あるいは #earthtribe として、これからも取り組みを進めていきます。

拾ったごみの総数 **2,082,950**個
参加のべ人数 **38,411**人

※ 2022年11月7日プロジェクト終了期間までのデータ

プラごみバスターズ大作戦の活動は継続中

プロジェクト期間は終了しましたが、全国のスカウトの取り組みは継続しています。期間終了から2か月経過した1月末時点で、参加人数は4.7万人、ごみの総数は420万個を突破しました。仲間たちの日々の善行は続いています。引き続き、それぞれの地域で自分なりのプラごみバスターズ大作戦を続けてください。



“Japanese Scouts clear 2M+ pieces of plastic waste”

世界スカウト財団 (WSF) において、日本のスカウトの取り組みとして紹介されています。



■ 環境展示会「エコプロ」に出展

2022年12月7日(水)～9日(金)の3日間、持続可能な社会の実現に向けた環境展示会「エコプロ」に出展し、プラごみバスターズ大作戦について紹介しました。エコプロは毎年12月に東京で開催されていて、エコな製品やサービスを一般向けに展示・紹介しています。当ブースでは小中学生を中心に、3日間で約1,000人の来場者に私たちの活動を知っていただくことができました。

- プラごみバスターズ大作戦のパネル展示
- プラごみバスターズ大作戦の教材展示・配布
- ごみ拾い SNS「ピリカ」の使用方法の紹介
- ペットボトルキャップアップサイクル品の展示
- ワークショップ：キャップコースター作り



2022年9月に150の団が取り組んだアップサイクルチャレンジで集まったペットボトルのキャップが、SDGs ホイールバッジに生まれ変わって、全国のスカウトたちに届けられました。活動の機会に着用してください！

■ 多様な社会奉仕活動を今年も展開

スカウトの日は、持続可能な開発目標を実現するためにスカウト自らが行き届く活動や、地域と一緒にいる活動を含みます。防災や環境保護、募金活動など多様な取り組みが各地で行われています。



プラごみバスターズ大作戦
特設サイト

<https://plagomi.scout.or.jp/>



今年のプラごみバスターズ
大作戦の取り組みを
まとめた動画を公開中





先達に学ぶ、ボーイスカウト日本

100周年を迎えたボーイスカウトの歴史の中で印象的な出来事を、日本連盟の先達に伺いました。3号にわたりご紹介し

ボーイスカウト日本連盟100周年に寄せて

日本連盟先達、久米美術館 館長、元ドイツ駐箆特命全権大使 久米 邦貞

日本のスカウト運動も、昨年は、「日本連盟創立100周年」という記念すべき年を迎えました。振り返って見れば、私自身が中学時代にスカウト隊に入隊したのは、戦後日本が未だ米国の占領下にあった1950（昭和25）年のことで、今から72年前になります。当時は一般には掲揚を許されなかった日章旗をスカウトたちが掲げて、正月の皇居前広場を行進した光景は、日本が占領下ながらも、戦禍の中から立ち上がったことを実感させるものでした。

私のスカウト時代を通じての最も深い思い出は、世界のスカウト運動創始50周年を記念して1957（昭和32）年に英国で開催されたジュビリージャンボリーに参加する機会を与えられたことで、私にとってはこれが広く世界に目を開く貴重な契機となりました。当時は、海外への旅行は夢の中の夢だった時代で、学校や書物で学んだ世界を自分の目で確かめる機会を得て、大きな期待に胸を膨らませたことを記憶しています。

旅の体験を書いた日記が見当たらないので、曖昧な記憶を辿れば、エアフランスのプロペラ機で羽田を飛び立ったのは1957年の7月15日だったと思います。南廻りで10か所程の地で給油を繰り返し、50時間以上をかけてようやく最初の訪問地のローマに辿り着くという今では想像もできない長旅で、ローマとパリを見学した後、英国での最初のキャンプ地のギルウェルパークに入ったのは日本を出て1週間後でした。ジャンボリー会場は、バーミンガム近郊のサットンパークというロンドンから汽車で3～4時間の所で、緩い起伏が連なる見通しの良い草地の会場一杯に無数のテントが立ち並ぶ光景に圧倒さ

れました。アジア、アフリカ諸国の多くが未だ独立する前で、参加国数こそ最近のジャンボリーの半分程でしたが、植民地を含めて世界各地から3万5千人を超えるスカウトがこの地に集結しました。閉会式で全員が大營火を囲んで手を繋ぎ、別れを惜しんで繰り返した「蛍の光」の大合唱は、世界中のスカウトとの連帯を強く肌で感じた瞬間でした。

帰路は、英国内で数日のホームステイの後、10日程をかけてスイス、ドイツ、デンマークを廻ってジャンボリー会場で知り合ったばかりの各国のスカウトを訪ねて交流し、就航直後の北極回りの便で帰国しました。スイスでは、カンダーシュテックの国際スカウトセンターを拠点に各地のスカウトを訪ねましたが、当時人口5百万程の連邦国家で州毎に言語も文化も大きく異なるこの国が、独立、自主、中立の理念の下に連帯して長きに亘って平和と繁栄を維持してきた生きざまに身近に触れて深い感銘を受け、国家や民族といった問題について関心を抱くことになりました。世界ジャンボリー参加を中心とした1月半の欧州訪問は、外交の道への志を高める貴重な契機となり、その4年後の1961（昭和36）年夏には、外務省の語学研修のため再びドイツの地を踏むことになります。

日本のスカウトが100周年を祝った2022（令和4）年は、世界が大きな危機を迎えた年でもあります。過去2回の大戦を想起させるような国家間の大規模な戦争が、冷戦中も平和秩序が維持されて来た欧州の地で再び勃発したことは、世界に大きな衝撃を与えました。政治、経済、エネルギー、食料等多くの分野で、既存の国

際秩序は挑戦に曝され、世界中が供給不足や、物価高騰に脅かされました。地球温暖化が加速し、世界各地で洪水、早魃^{かんぼつ}、突風、山火事などの自然災害が一気に拡がったのも昨年は特に顕著でした。各国の国内社会でも、SNSなど情報化の急速な進展の結果、人々が、自分と同じ立場に立つ意見のみを受け容れ、他の意見や情報を耳を閉ざすようになったことで、利害や意見を異にするグループ間での対話や妥協が困難となって社会の分断が進みつつあることが懸念されるようになりました。

こうした昨今の時勢の中で、立場や意見を異にする他者との意思疎通の円滑化や、異文化間の相互理解を深めることは益々重要となっています。野外での集団生活の中で、仲間と生身のコミュニケーションを取りつつ協調することで、他者への配慮、異なる意見への理解と妥協、集団の中での自分の立ち位置や役割への自覚、責任感など社会生活を行う上で不可欠な資質を、自然な形で子どもたちに身につけさせるスカウト教育の重要性が再認識されます。また、現在世界が直面する地球規模の問題の解決には、世界中の人々が問題意識を共有し、解決に向けて世論を盛り上げて協力して行くことが肝要ですが、この点でも世界に5千7百万の同胞を擁するスカウト活動のネットワークには大きな役割が期待されます。23WSJのテーマともなった「和」という言葉は、「平和」「調和」「協調」「連帯」「和平」など幅広い意味を有する含蓄のある言葉で、スカウト運動の目指すところを一字で言い表すのに最適といえますが、今日世界が直面する諸問題に対処する上でもキーワードとなる言葉かと考えます。

連盟100周年

てきた記事は、今回が最終回です。先達のお話からスカウト活動の歩みを学び、これからのスカウティングの励みとしていただければ幸いです。

74年のボーイスカウト活動

日本連盟顧問・先達、和歌山連盟連盟長 山本 一郎

私は1935(昭和10)年生まれの87才のボーイスカウトです。身体障がい者1級の体で頑張っています。ボーイスカウトに入隊したのが終戦後、1949(昭和24)年の新制中学校2年生の時でした。家の近くの小学校の先生がボーイスカウトに入らないかと誘ってくれたのですが、親が薦めたのか自分の意志で入ったのか、はっきりした覚えはありません。しかし、当時のボーイスカウトは米国進駐軍と関係があり、入隊すれば「チューインガムやチョコレート等がもらえるかもしれない」という思いはありました。そして「海草第1隊」という団に入団しましたが、制服はなく、ネッカチーフの代わりに風呂敷を首に巻いていました。キャンプ用品も少なく、テントも小さく2人用でした。しかし当時は、自然に恵まれ、海へ山へと行き、また受験戦争の無い時代だったので、毎日十分スカウティングを楽しむことができました。そして入団して2年後の1951(昭和26)年、高校1年生の時に米国進駐軍の協力により、オーストリアで開催される第7回世界ジャンボリーに各県から1人参加させてくれるということになりました。当時は東京へ行くのもままならない時代だったので、外国へ行けるとは現在の宇宙旅行並みでした。ただし、各県から3人を選び、その内から1人を日本連盟が東京で選ぶということでした。和歌山で3人選ぶのに米国進駐軍の厳しいテストを受け、3人のうちの1人として選ばれ、各新聞に私の名前が載り大騒ぎになりました。

ところが、その後、何の音沙汰もなく1ヶ月程過ぎてから日本連盟より国際状況の変化と米国進駐軍の都合により、各県1人が全国で1人になったという連絡があり、県単位でも大変なテストだったのにどんなテストになるのかなと心配し

ていました。その後、日本連盟から、大阪の上島真一郎さんが参加することになりましたという連絡があっただけでした。

40年後、私が日本連盟野営行事委員長に就任した折、当時、財政委員長だった上島さんにお尋ねしたのですが、「君が行け」と言われ、三島総長と参加しました、と話されました。

その後、シニア、ローパーと上進し、1966(昭和41)年に30才で団委員長となり、1981(昭和56)年に46才で全国最年少の理事長になりました。日本連盟の役員は、計35年、次のとおり務めさせていただきました。

- 1981(昭和56)年～ 日本連盟評議員4年
- 1985(昭和60)年～ 中央審議会議員13年
- 1997(平成9)年～ 評議員7年
- 2004(平成16)年～ 理事3年
- 2008(平成20)年～ 副理事長8年
- その他、野営行事委員長6年、名誉会議議長7年

さて、天皇陛下との関わりですが、1982(昭和57)年3月に県警察本部の友人から「お前、何をしたんだ、警察が徹底的に調べているぞ」と言われたのですが、何も思いつくことがありませんでした。実は、8月に宮城県で行われる第8回日本ジャンボリーで当時の浩宮殿下がキャンプサイトの視察をされるご案内を約1時間、私がすることに決定していたためだったのです。1時間という長い時間、殿下は親しく私のお相手をして下さりいろいろなお話をしてくれました。殿下がこのジャンボリーでテント泊を初めてなされ、その後、東京御所での富士スカウト顕彰を始めてくださったのです。私は、担当の野営行

事委員長として、代表スカウトを毎年3月に引率しました。また、2013(平成25)年から3年間は、日本連盟代表としてご挨拶させていただきました。天皇陛下は、驚くべきことに、毎回、富士スカウト表敬訪問の代表47人の一人ずつに必ずお声をかけられるのです。

そして、2019(令和元)年11月に京都御所で開催された天皇陛下即位記念の「茶会」にお招きいただき、お帰りになる際に私に気づかれ、私のところへおいでくださり、皇后陛下をご紹介くださるという栄誉を賜りました。

73年間のスカウト活動を振り返ると、世界ジャンボリーに4回、日本ジャンボリーに15回、シニア(ベンチャー)大会は4回、アグーナリーも4回参加させていただき、心から感謝申しあげます。ボーイスカウトのお陰ですばらしい人生を過ごさせていただいたと思っています。



「第8回日本ジャンボリー」の会場で天皇陛下への説明役を務める(1982年8月)

出典：日刊油業報知「HELLO」(2022年12月20日発行)

● “未来を創る青少年の育成を一緒に” 100周年記念募金は3月31日まで
ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念募金にご寄付をいただいた方

【北海道】 長岡 正彦 高野 ひとみ 嶋下 泰久 三国 久介 斉藤 満 北野 義城 【青森】 根岸 英樹 千代谷 典明 【岩手】 奥田 耕一 上總 隼 【宮城】 横澤 繁 郷家 照夫 【山形】 鈴木 雅寿 【福島】 高橋 文郎 丹治 直人 【茨城】 柳町 徹 杉浦 一弘 関彰商事(株) 【栃木】 田名網 学 【群馬】 中曾根 秀 小倉 豊人 碓井 健文 渡辺 保 藤井 春俊 【埼玉】 大野 真理 宇田川 充	松田 一寿 江万利子 新山 勝広 水野 正一 高橋 義人 西 信隆 町田 勝久 山田 進一 藤倉 幸親 山崎 雅弘 草間 明浩 井上 久雄 武藤 敦 田島 勝 B S 上尾 9 【神奈川】 田中 齐 福田 令子 根本 孝英 豊城 邦彦 石津 雅之 伊藤 芳績 鶴澤 弘明 若生 義行 木村 政夫 小野寺 克文 B S 習志野 2 【神奈川】 栗田 哲郎 尾田 修一 清水 裕 前川 裕一 若松 滋俊 河口 友喜 中島 良介 大沼 真理	市川 達也 吉村 敏 【山梨】 西野 一 新井 誉夫 和田 勝久 藤原 進 甲府3BPクラブ 【東京】 熊谷 淳 枝迫 七海 肥沼 裕史 荒木 孝誠 石田 汎 大野 忠 柳 重久 永島 啓介 滝島 光男 岡田 勇一郎 渡部 直樹 久米 邦貞 別役 重久 谷 裕文 榊原 友樹 松永 伸治 指田 守昭 阿南 博之 市野 洋一 當麻 好教 小島 明子 鈴木 友子 羽田 大三 上中 義男 栗田 泰雄 真山 明夫	北野 祐子 堀 秀之 大岡 直行 林 理生 古川 久生 渡邊 博隆 柳 久之 大久保 秀人 粕谷 彌太郎 小川 雅郎 富山 和輝 中田 昇 小町 美彌子 海老沼 崇 【石川】 【福井】 大川 隆雄 前田 健一 高見 和宏 【長野】 京子 出田 康元 【岐阜】 佐々木 慶一 【静岡】 杉山 邦宏 芹澤 秀樹 北川 和也 【愛知】 今 荘 哲弘 浅井 美由紀 酒井 文一郎 鈴木 直樹	坂 菅野谷 俊英 安 市男 椋原 通夫 西 博 良 博 山本 高久 雷 康二 篠原 克明 谷井 俊彦 阿江 敏行 太田 伸 大阪ガス(株) ダイキン工業(株) 阪急電鉄(株) 【鳥取】 中尾 圭介 松田 一三 【島根】 米山 靖 小川 喜多男 福庭 義明 河角 隆治 【岡山】 廣田 裕 【広島】 時田 昌明 山下 満芳 広島陵北 ロータリークラブ 【山口】 友田 宏幸 濱野 亜希子 【徳島】 廣瀬 民義 楠本 育生 【愛媛】 山川 智三郎 木村 勇士 横井 寿子 横井 隆司 三浦 弥生	三谷 幸正 垣添 国博 松井 隆 山本 展正 森川 厚 【福岡】 吉岡 秀学 浦田 健司 小田 房江 阿津坂 秀人 青谷 麻紀子 熊本 幸雄 沖本 義昭 横山 大輔 BS福岡15育成会 【長崎】 西嶋 太郎 【熊本】 岩元 明治 岡本 光昭 連川 貞弘 久保田 健嗣 【大分】 真田 康広 麻生 英二 御手洗 朋宏 内田 日出男 大村 直樹 【鹿児島】 岡 積 弘幸 松林 大生 【沖縄】 稲嶺 惠一 仲嶺 眞情	里平 秀彰 【日本】 水野 正人 出田 行徳 大久保 秀人 松本 仁 河合 孝俊 第一生命 ホールディングス(株) パフックウイジョン(株) 鴻巣水曜 ロータリークラブ サントリー ホールディングス(株) つくば学園 ロータリークラブ 柳井西 ロータリークラブ B S 犬上 1 大和ハウス工業(株) HARVEY PAUL A.S. 下関北 ロータリークラブ トヨタ自動車(株) みずほ フィナンシャルグループ 明治ホールディングス(株) 中外製薬(株) 三菱UFJ銀行 (株)三井住友 フィナンシャルグループ
--	--	---	---	---	---	--

これまでにご寄付いただいた方を、順次掲載しています。引き続き、3月末まで申し込みを受け付けています。詳しくは、Web サイトをご覧ください。
https://www.scout.or.jp/member/100th_anniversary-bokin/

難民支援衣料回収プロジェクト
春のキャンペーン (3月1日~5月31日) 開催中



ボーイスカウトはユニクロと連携し、衣料回収による難民支援プロジェクトに取り組んでいます。難民キャンプでは特に子ども服が不足していることから、2016年にこの取り組みをスタートし、これまでに12万着以上の服を回収して難民支援に繋げてきました。昨年は全国で約1,700人にご参加いただき、2万8千着以上の服を集めることができました。

今年もこの事業を継続しますので、衣料の回収と持ち込みにぜひご協力ください。



春のキャンペーン

期間: 3月1日(水) から5月31日(水) ※店舗への持ち込みは4月1日(土) から

参加方法

- 1 日本連盟 Web サイト内、プロジェクトのページ(*)より参加申込をお願いします。
- 2 Web ページ上にある「お届書」を作成し、最寄りのユニクロ店舗へ連絡を取っていただき持ち込み日の調整をお願いします。
- 3 実施後は、Web ページから実施報告をお願いします。その際に活動写真を合わせてお送りください。後日、参加全員にユニクロからの感謝カードをお送りします。

Web ページには、UNHCR 協会が作成している難民理解のための資料や、集められた衣料が難民キャンプに届くまでの動画などを公開しています。本プロジェクトへの参加を通して、スカウトたちが「難民」や「国際情勢」について学ぶ機会となるよう活用ください。

※プロジェクトの Web ページはこちら https://www.scout.or.jp/member/support_for_refugees/



2023(令和5)年度 全国大会 開催概要



開催趣旨

全国大会は、社会への本運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、本連盟と参加者の双方からの情報交換の場として開催します。参加者が全国の多くの仲間と触れ合うことによって、本運動に関わっている喜びを実感し、意義を分かち合い、また、日本連盟や都道府県連盟の報告や展示、年次表彰のほか、全国の指導者によるスカウト運動推進に向けた各種研修、情報交換や懇親の場を設け、幅広くスカウト関係者からの意見・要望を聞くことで、さらに開かれた教育運動を目指していきます。また、スカウト関係者のみならず、地域の多くの方が参加できる全国大会を目指します。

日 程 2023(令和5)年 5月27日(土)～28日(日)

会 場 岡山県岡山市

- ① 岡山シンフォニーホール [開会式・表彰式]
北区表町1丁目5-1
- ② ホテルグランヴィア岡山 [交歓会]
北区駅元町1-5
- ③ イオンモール岡山 おかやま未来ホール
[スカウティングエキスポ]
- ④ 諸会議 [会場調整中]



テ ー マ 晴れの国おかやまから、新しい一歩。

—地域と共に歩み、社会課題の解決に貢献するスカウティングを目指して—

参 加 者 どなたでも参加できます

- ① ボーイスカウト指導者・役職員（隊長、団委員長、地区コミッショナーの参加を期待します）
- ② ローバースカウト、スカウトの保護者、育成会員、スカウトクラブ会員等
- ③ 行政関係者、他団体関係者
- ④ 一般市民、県内の青少年、その他

参 加 費 3,000円 [資料及び記念品代含む] (予定)

※スカウティングエキスポは、一般向けに無料開放します

交 歓 会 費 10,000円 (予定)

主 な 日 程 5月27日(土) 午後 開会式、全体フォーラム、表彰式他、県連盟代表者会議、全国県コミッショナー会議、RCJ 総会
夕 交歓会

5月28日(日) 午前 全国スカウト教育会議 [= テーマ集会]

5月27日(土)～28日(日) スカウティングエキスポ [展示、体験コーナー他]

※ 大会日程に合わせて、岡山市内の児童を対象に「こども体験まつり」(エキスポ内)「市内ポイントラリー」(28日のみ)を開催予定

主 催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

開催連盟 日本ボーイスカウト岡山連盟

後 援 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会

(予定)

山陽新聞社、OHK 岡山放送、RSK 山陽放送

協 力 一般財団法人岡山県ボーイスカウト振興財団

(予定) 公益社団法人おかやま観光コンベンション協会

信仰奨励

「自由」と「ちかい」と「おきて」

信仰奨励小委員会 服部 行彦

「ちかい」と「おきて」のことで、ひとりのスカウトがつぶやきました。「ちかい」と「おきて」には何か自由がないみたい。もっと自由でいいと思う。」

そこで、皆で自由について話し合い、自由だと思える人や事柄を挙げてもらいました。ロープを自由に操る隊長 ギターを自由に弾いているんな曲がひける スケボーでいろんな技ができてカッコいい など、こんな自由がほしいね、自由って楽しいねと盛りあがったところで、さらに考えることに。ロープワークを自由にできる隊長はロープの結び方を無視してやっていたらどうか？ ギターを自由に弾ける人は勝手気ままに鳴らしていただろうか？ スケボーの名手はどうだろうか？ と。

そうして話すうちに、自由にできる人たちはみな、その「手順」「決まりごと」「ルール」をちゃんと守り、そのうえで自由だからカッコいいのだということに気づきました。結び方を守っているから素早く間違えなくできる、ギターはコード進行をきちんと押さえているのでカッコいい、スケボーも重心移動や回転などがちゃんとコントロールできているのです。

自由なスカウトとしての行動は、その基本である「ちかい」と「おきて」をきちんと身につけていることです。大事なことは、ロープワークも手順も、普段の班活動での練習であり、それが身につくことで隊活動での競い合いの中で勝利につながり、自由やカッコよさが後からついてくるものです。

ベーデン・パウエルラストメッセージは『幸福に生き、「そなえよつねに」を忘れず、大人になってもいつもスカウトのちかいとおきてを守ってください。そうすれば神さまはきっとお守りくださるでしょう。』という言葉で終わっています。これこそ B-P が示してくれた「信仰」です。「ちかい」と「おきて」を実践することで、自由にスカウト活動ができるよう神様が守ってくれと信じて行動することが大切です。「ちかい」と「おきて」が守れること、それは確実に信仰が育てられていると考えられるのです。

ローカルホットライン

Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- … 団
- ☒ … 地区
- … 都道府県連盟
- ◇ … その他

茨城 ◇ 職域スカウト隊

牛久第1団 柳町 徹

キヤノンの社内報に「ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典」の記事が掲載されました。キヤノン株式会社の会長でもある、ボーイスカウト日本連盟の御手洗富士夫総裁が、全国から集まったスカウトの代表団を前に挨拶された様子などが紹介されました。

また、記事にも書かれていますが、以前キヤノンには、

ボーイスカウトが2団（東京都大田区と茨城県取手市）と、ガールスカウトが1団（大田区）ありました。

当時は、「職域スカウト隊」と呼ばれる、企業におけるボーイスカウト団が結成され、勤労青少年の生活指導や人格形成、協調性や指導力の養成などを目的に、多くの企業でボーイスカウト運動が行われていました。

ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典に御手洗会長が出席

ボーイスカウト運動のはじまり

1907年にイギリス人のロバート・ベナンツウィンが自らの心掛で南アフリカでの体験をもとに、野外活動を通じて社会に役立つ人材に育てるとの志を込め、イギリスのブレンリーで36人の子どもたちとキャンプを行ったことがボーイスカウト運動のはじまりです。日本には翌1908年に始まり、1912年にベナンツウィンが世界一帯の途中に日本を訪れたことで、全国各地に少年団が設立されました。1922年には「少年団日本連盟」が設立され、ボーイスカウト国際事務局に正式加盟。今では世界172の国と地域で約4,000万人が、日本で毎年2,000の団と合わせて活動しています。

歴代のボーイスカウト日本連盟総裁

総裁	任期	出身	職業	備考
第1代	1908年 - 1914年	山本 徳次郎	銀行員	
第2代	1914年 - 1915年	野村 胡堂	銀行員	
第3代	1915年 - 1920年	野村 胡堂	銀行員	
第4代	1920年 - 1924年	野村 胡堂	銀行員	
第5代	1924年 - 1928年	野村 胡堂	銀行員	
第6代	1928年 - 1934年	野村 胡堂	銀行員	
第7代	1934年 - 1938年	野村 胡堂	銀行員	
第8代	1938年 - 1944年	野村 胡堂	銀行員	
第9代	1944年 - 1948年	野村 胡堂	銀行員	
第10代	1948年 - 1954年	野村 胡堂	銀行員	
第11代	1954年 - 1960年	野村 胡堂	銀行員	
第12代	1960年 - 1966年	野村 胡堂	銀行員	
第13代	1966年 - 1972年	野村 胡堂	銀行員	
第14代	1972年 - 1978年	野村 胡堂	銀行員	
第15代	1978年 - 1984年	野村 胡堂	銀行員	
第16代	1984年 - 1990年	野村 胡堂	銀行員	
第17代	1990年 - 1996年	野村 胡堂	銀行員	
第18代	1996年 - 2002年	野村 胡堂	銀行員	
第19代	2002年 - 2008年	野村 胡堂	銀行員	
第20代	2008年 - 2014年	野村 胡堂	銀行員	
第21代	2014年 - 2020年	野村 胡堂	銀行員	
第22代	2020年 - 2026年	野村 胡堂	銀行員	

写真とともに振り返るボーイスカウトイベント

- 2015年 第23回世界スカウトジャンボリー
2015年7月に山崎さくららで「第23回世界スカウトジャンボリー」が開催され、世界の15カ国・地区から約1万4,000人が参加し、2週間わたりのキャンプをしながら日本の歴史文化に触れるプログラムなどを体験しました。キヤノンは最上級ボランティアとして協賛し、カメラや撮影機材などの提供や、サポートを通じて大会運営を全面支援したほか、会場内にネットワーキングを設置し、全世界へのライン発信に協力しました。
- 2021年 総裁就任
2021年5月、ボーイスカウト日本連盟の全国大会がオンラインで開催され、御手洗会長が総裁に就任。歴史的な様子や就任メッセージが配信されました。
- 2022年 全国大会
2022年5月に、兵庫県神戸市のアライエビで、創立100周年を記念したボーイスカウト日本連盟の全国大会の閉会式が3日ぶりに対面式で行われ、御手洗会長が日本連盟総裁として出席し、あいさつしました。
- 2022年 第18回日本スカウトジャンボリー
2022年8月、4年一度開催されるボーイスカウト最大の祭典である日本スカウトジャンボリーの大会が秋葉原国際ホールで対面式のもと、東京・大田区総合体育館で開催され、総裁を兼ねる御手洗会長が出席し、代表スカウトとの華やかな挨拶も行われました。

キヤノンにボーイスカウト、ガールスカウトがあった？

昭和のある時期、企業内にも盛んにボーイスカウトが結成されていたことがありました。ボーイスカウトの精神は「三つの精神」に通じるものがあることから、キヤノンでも1963年10月に若手有志が中心となって「三つの精神」を掲げ、若手を中心とした少年団の発足があり、発足式が挙げて話題になりました。11月25日には、御手洗会長と若手有志が参加する「ボーイスカウト日本連盟の発展を促す」下半身有線放送が放送され、32名からなるキヤノンボーイスカウトが誕生。また、翌年の1964年10月には総裁61名のキヤノンボーイスカウトが誕生しました。その後、ボーイスカウトは1966年まで、ガールスカウトは1972年まで、それぞれ活動していた記録が残っています。

キヤノンボーイスカウト08 国生崇彦インタビュー

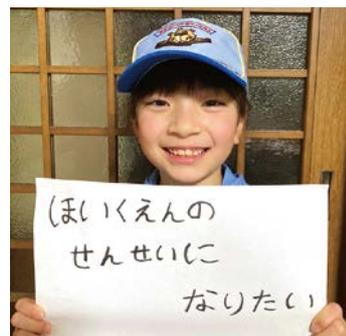
1962年に入社していたところ、ボーイスカウトの精神があり、入団しました。60年近くも前にありますが、非営利での経験や経験者の訓練、自然環境で自然のことに気づかせるという、野外活動を通じて子どもたちに心の豊かさを育むという、ボーイスカウトの精神が、今でも生きています。ボーイスカウトの精神が、今でも生きています。ボーイスカウトの精神が、今でも生きています。ボーイスカウトの精神が、今でも生きています。

キヤノン株式会社 社内報

スカウトの夢

将来を担うスカウトたちの「夢」は、ボーイスカウト運動にとって、これからの100年に向けた貴重な財産です。全国のスカウトから寄せられた、ボーイスカウトの楽しいところや将来の夢を紹介します。

スカウトたちの「夢」を、皆で応援しましょう！



■ 野外活動のための安心・安全講座

安全な自転車利用のために……

「自転車の安全利用の促進について」（令和4年11月1日、中央交通安全対策会議交通対策本部決定）において、「自転車安全利用五則」が、次のとおり改定されています。自転車は、道路交通法上の「軽車両」となり、車の「仲間」になります。したがって、車と同じように自転車を運転する人が守らなければならない交通ルールがあります。



Q 「自転車安全利用五則」は、どのような内容ですか？

A 基本的な五則は、

- ① 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全運転
- ③ 夜間はライトを点灯
- ④ 飲酒運転は禁止
- ⑤ ヘルメットを着用

内閣府ホームページ【内閣府交通安全対策担当（交通安全教育教材）ホームページ】<https://www8.cao.go.jp/koutu/kyouiku/index.html> をご参照ください。

Q 自転車に乗る前の点検・整備のポイントは？

A 点検・整備のポイントは、ボーイスカウト安全ハンドブックに掲載されています。合言葉は「ぶたはしゃべる」です。

- ぶ** ブレーキ ブレーキはよく効くか？
- た** タイヤ タイヤに適度な空気が入っているか？
- は** 反射材 反射材は光をよく反射するか？
- しゃ** 車体 車体（フレーム）に損傷はないか？
- べる** ベル ベルやブザーは鳴るか？

最近の自転車事故の事例

最近の実際の事例としましては、スカウトが自宅から自転車で活動へ向かう途中で、信号の無い交差点で自動車と接触する事故がありました。フロントガラスに打ちつけられ、大きく飛ばされた結果、身体の随所を打撲し通院することになりました。通院期間は一週間にも満たなかったのですが、後遺障害が認められ後遺障害共済金が支払われています。

自転車を利用した活動も次第に増えるかと思われませんが、最近の自転車事故の事例からすれば、交差点での一時停止やヘルメットの着用といったルールが守られていれば、事故を未然に防いだり、被害の軽減を図ることができたかもしれません。

その他、スマホを使用しながら運転する等の危険な「ながら運転」をしないこと、「自転車損害賠償責任保険（自転車保険）」への加入をすること等も必要です。

以上を念頭に置き、くれぐれも安全運転に務めて、スカウト活動を楽しんでください。



チャレンジ章
自転車博士



技能章
自転車章

維持会員(敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員のの方々です。

ご支援ありがとうございます

2022年11~12月度

【北海道】

北 秀継
喜多 英司
三国 久介
高橋 明
BS小牧2
BS北海道連盟
理事会一同

斎藤 政之
山崎 芳廣
寺田 昌哉
草間 明浩
安藤 政子
岩田 宏
黒澤 岳博
小川 岩夫

【山梨】

小倉 恵一
松木 淳一
三井 啓一郎

【東京】

吉村 利信
安西 美勝
平山 充
渡邊 博隆
柳 久之
村井 信介
守安 博
井垣 光弘
唐橋 聡
花淵 修一
中井 正生
荒川 善彦
今井 達
安海 将広

諸橋 康二
若松 広司
BS久喜1
BS桶川1
BS川口19
BSさいたま1
BSさいたま10育成会
BSさいたま201
BSさいたま205
BSさいたま220

【千葉】

高橋 昭二
木村 政夫
森屋 啓
谷崎 久志
柴 千鶴子
田岡 邦子
最首 守雄
片寄 朗
伊藤 知
鶴澤 弘明
脇本 直哉
小林 恒行
小西 章夫
井上 美恵
太田 大州
杉山 智基
BS松戸8育成会

【神奈川】

鈴木 令子
水野 英明
高野 新平
木村 耕三
大村 貞雄
須藤 守之
本間 俊三
瀬戸 清規
太田 勉
遠藤 直樹
菅原 信浩
柳下 裕明
境 紳隆
中鶴 英昭
足立 和郎
前島 正彰
BS海老名3
BS伊勢原2 河口友喜
BS横浜10
BS横浜43
BS横浜74

【宮城】

郷家 照夫
千田 好男
松岡 健美
菅野 五郎
橋浦 寛
和田 剛和
荒井 嘉光
日下 清
（株）ごんきや
メナード化粧品京院
ラベンダーゆづり店

【秋田】

佐々木 恵一
川尻 孝紀
中川 猛夫
渡部 訓之
田村 広美

【山形】

土田 純平
齋藤 勉

【福島】

五十嵐 康善

【茨城】

井澤 敏雄
青木 正志
西嶋 由貴子
久保 勝男
鈴木 君枝

【栃木】

中臣 正範

【群馬】

原 義裕
夏目 正
清水 賢次
高松 富雄
渡辺 保
永谷 玉江

【埼玉】

岡田 良一
星谷 光市郎
武藤 敦
亀井 實
中村 哲

小町町市 Brothers
山内直元 Brothers
BS江戸川1
BS府中1
BS小金井1
BS小金井4
BS三鷹3
BS練馬3
BS練馬15
BS足立4
BS足立5
BS世田谷6

名鉄観光サービス(株)
岐阜支店
伊藤配管工業(株)

【静岡】

山城 厚生
松本 俊信
杉山 盛雄
吉川 雄二
鈴木 隆春
小城 茂子
太田 浩三郎
大山 正晃
北村 誠
大澤 晶
丸山 浩孝
遠藤 哲史
上條 猛
久原 宗仁
山本 真一
BS富士6
BS清水地区
BS静岡10育成会

【新潟】

西澤 哲司
藤塚 大造
清水 修
長谷川 圭介
山田 徹
（株）下越齒研
（株）七里商店

【石川】

浜本 茂樹
村山 和光
山本 敏成
内田 宏

【福井】

陶山 治男
籠 義則
西 法男
清水 正喜
細川 式部
清水 恵治

【長野】

丸山 正一
金子 元昭
丸山 輝子
村田 富士雄
小口 賢一
武田 清孝
三枝 昭文
BS富士見1

【岐阜】

安田 勝
上田 明範
大野 雅晟
安藤 和雄
塩屋 節次
水谷 憲昭
古家 章
中畑 晃一
古家 恭子
渡辺 義昌

谷山 鉄信
廣瀬 重幸
武井 拓運
本多 健司

【富山】

勝俣 岐章支店
伊藤配管工業(株)

【愛知】

伊藤 利生
坂井 忠夫
鈴木 睦
肥田 莊治
熊沢 焔
平手 和一
森 明
海川 俊治
林 悦子
溜島 光則
奥谷 雅憲
林 康兵
奥村 昌寿
早川 権慈
内藤 吉文
串崎 武志
加賀 敏之
森 彰康
志尾 浩司
志水 幹
藤江 克美
西村 明彦
中村 友一
椎葉 浩志
高橋 謙治
水野 義久
岡田 耕一
山崎 義和
横井 修嗣
瀧本 泰博
三枝 勝
岩月 幸雄
小川 俊之
三浦 浩嗣
BS安城1

【三重】

BS武豊2
BS江南3
BS豊橋4
BS豊橋9
BS犬山7
BS半山11
BS名古屋11
BS名古屋31
BS名古屋127
BS西尾2リーダーク会
BS一宮10育成会
BS名古屋64育成会
BS名古屋101育成会
佛立寺岡谷不動産(株)
（株）ティーズプラス
ロッジニーマックス
（株）カミヤマ
（株）クロス技研
（株）アヤボ

【三重】

森 淳之祐
前田 隆司
服部 昌弘
原口 耕一
高橋 誠
田中 勤
山口 成治
田中 伸二
宇佐美 麻里
数田 茂
辻 栄
牧野 修三
鈴鹿 機修
（株）富士製作所
（株）田口製作所

【滋賀】

崎 信治
小菅 邦彦
木村 誠
船田 勉
【京都】
高垣 慶嗣
中井 敬二
山下 琢
林 俊次
樋口 秀明
桑原 山深
岡本 幸三
京都85育成会
橋重十九

【兵庫】

佐藤 征一郎
杉本 光俊
松本 徹
中島 佳一
森地 一夫
豊原 正尚
中田 淳子
荒川 清治
瀧川 博司
新戸 建男
後藤 良二

河原 淳
瀬山 宏
東松 健二
菅長 薫
能登 祐一郎
勝見 順三
下門 篤弘
田頭 英一
柴国 守
朝倉 美穂
高橋 弘之
中田 和葉
丸尾 洋一
永井 裕介
岡田 裕
宮本 潤子
青木 教至
菊妻 隆和
澤崎 勇嗣
梶木 盛也
清川 ひとみ
伊藤 茂
橋爪 松美
清水 猛
岩田 宏之
佐茂 正之

【和歌山】

北畑 耕作
仙石 康盛
加藤 隆也
宮本 晴生
楠本 章郎
塚本 恵照
下坂 訓義
小畑 淳
野村 義夫
阪井 信也
伊藤 真輝
寺田 伸也
西田 昌弘
下坂 カメラ
三木理研工業(株)
セゾクベンダー(株)

【奈良】

辰己 駿一
境 寛
宮脇 誠一
岡本 勝己
唐橋 聡
森田 良輔
森川 義憲
池島 勉
BS葛城1
【和歌山】
北畑 耕作
仙石 康盛
加藤 隆也
宮本 晴生
楠本 章郎
塚本 恵照
下坂 訓義
小畑 淳
野村 義夫
阪井 信也
伊藤 真輝
寺田 伸也
西田 昌弘
下坂 カメラ
三木理研工業(株)
セゾクベンダー(株)

【大阪】

甲斐 紀成
佐藤 嘉昭
岩田 幸一
高見 篤志郎
川口 明宏
膳師 功
今田 忠行
中野 正
則次 亮介

【大阪】

安部 孝次郎
竹内 章
角山 肇
沖 純次
吉川 泰正
桑原 幸夫
山下 満芳
山口 昌一
藤間 幹夫
横田 光則
BS広島県連盟
BS広島県連盟
スカウトクラブ

【山口】

池田 信幸
徳久 誠
【徳島】
中野 良裕
【香川】
吉田 往嗣
湖崎 武敬
菅原 良弘
豊原 啓
香川 芳文
今岡 扶彰
大西 栄生
岩井 敏恭
【愛媛】
宮内 正民
友近 規
【高知】
矢吹 了一
【福岡】
藤 玄洋
熊本 幸雄
井手 直秀
阿津坂 秀人
井手 明子

【福岡】

堀部 晴彦
松田 一三
松本 俊寛
森脇 昇
【島根】
又賀 航一
千家 尊祐
河角 隆治
（株）アイエム
コーポレーション
【岡山】
三宅 照正
杉本 興一
中川 大輔
西山 勝正
廣田 裕
見村 三吉
BS津山1回委員会
【広島】
安部 孝次郎
竹内 章
角山 肇
沖 純次
吉川 泰正
桑原 幸夫
山下 満芳
山口 昌一
藤間 幹夫
横田 光則
BS広島県連盟
BS広島県連盟
スカウトクラブ

【山口】

池田 信幸
徳久 誠
【徳島】
中野 良裕
【香川】
吉田 往嗣
湖崎 武敬
菅原 良弘
豊原 啓
香川 芳文
今岡 扶彰
大西 栄生
岩井 敏恭
【愛媛】
宮内 正民
友近 規
【高知】
矢吹 了一
【福岡】
藤 玄洋
熊本 幸雄
井手 直秀
阿津坂 秀人
井手 明子

瀬山 哲隆
北之坊 皓司
阿江 敏行
BS枚方3
BS大阪27育成会

【鳥取】

堀部 晴彦
松田 一三
松本 俊寛
森脇 昇
【島根】
又賀 航一
千家 尊祐
河角 隆治
（株）アイエム
コーポレーション

【岡山】

三宅 照正
杉本 興一
中川 大輔
西山 勝正
廣田 裕
見村 三吉
BS津山1回委員会
【広島】
安部 孝次郎
竹内 章
角山 肇
沖 純次
吉川 泰正
桑原 幸夫
山下 満芳
山口 昌一
藤間 幹夫
横田 光則
BS広島県連盟
BS広島県連盟
スカウトクラブ

【山口】

池田 信幸
徳久 誠
【徳島】
中野 良裕
【香川】
吉田 往嗣
湖崎 武敬
菅原 良弘
豊原 啓
香川 芳文
今岡 扶彰
大西 栄生
岩井 敏恭
【愛媛】
宮内 正民
友近 規
【高知】
矢吹 了一
【福岡】
藤 玄洋
熊本 幸雄
井手 直秀
阿津坂 秀人
井手 明子

【山口】

池田 信幸
徳久 誠
【徳島】
中野 良裕
【香川】
吉田 往嗣
湖崎 武敬
菅原 良弘
豊原 啓
香川 芳文
今岡 扶彰
大西 栄生
岩井 敏恭
【愛媛】
宮内 正民
友近 規
【高知】
矢吹 了一
【福岡】
藤 玄洋
熊本 幸雄
井手 直秀
阿津坂 秀人
井手 明子

【山口】

池田 信幸
徳久 誠
【徳島】
中野 良裕
【香川】
吉田 往嗣
湖崎 武敬
菅原 良弘
豊原 啓
香川 芳文
今岡 扶彰
大西 栄生
岩井 敏恭
【愛媛】
宮内 正民
友近 規
【高知】
矢吹 了一
【福岡】
藤 玄洋
熊本 幸雄
井手 直秀
阿津坂 秀人
井手 明子

【山口】

池田 信幸
徳久 誠
【徳島】
中野 良裕
【香川】
吉田 往嗣
湖崎 武敬
菅原 良弘
豊原 啓
香川 芳文
今岡 扶彰
大西 栄生
岩井 敏恭
【愛媛】
宮内 正民
友近 規
【高知】
矢吹 了一
【福岡】
藤 玄洋
熊本 幸雄
井手 直秀
阿津坂 秀人
井手 明子

【山口】

池田 信幸
徳久 誠
【徳島】
中野 良裕
【香川】
吉田 往嗣
湖崎 武敬
菅原 良弘
豊原 啓
香川 芳文
今岡 扶彰
大西 栄生
岩井 敏恭
【愛媛】
宮内 正民
友近 規
【高知】
矢吹 了一
【福岡】
藤 玄洋
熊本 幸雄
井手 直秀
阿津坂 秀人
井手 明子

末松 龍一
塩川 浩史
坂本 宣由
小沢 大蔵
竹下 もりと
BS福岡33
BS北九州45
（株）タカオ

【佐賀】

原口 誠
石井 二三夫
【長崎】
小鳥居 表
【熊本】
吉田 日出輝
【大分】
戸高 有基
佐藤 公一
【宮崎】
豊秀 昌彦
河野 一平
橋田 和実
小倉 和彦
黒木 省子
（株）平下産業

【鹿児島】

内藤 宗保
藤岡 義道
川畑 善照
田中 俊實
伊東 清寛
（株）ミズホ商会
【沖縄】
名幸 俊海
古屋 政美
【日本】
康至 康
平岡 昌高
菊池 節夫
松本 仁
土屋 勝俊
奥島 孝康
河合 孝俊
行武 孝人
松田 美歌
福原 有一
大藪 智士
茂木 達郎
柳 英治
額谷 征幸
戸高 有基
廣瀬 佳米
本郷 順子
栗田 哲郎
西尾 亜希子
BS広島県連盟
神明幼稚園
Chubb損害保険(株)
（株）JTB
米沢電気グループ

【佐賀】

原口 誠
石井 二三夫
【長崎】
小鳥居 表
【熊本】
吉田 日出輝
【大分】
戸高 有基
佐藤 公一
【宮崎】
豊秀 昌彦
河野 一平
橋田 和実
小倉 和彦
黒木 省子
（株）平下産業

【鹿児島】

内藤 宗保
藤岡 義道
川畑 善照
田中 俊實
伊東 清寛
（株）ミズホ商会
【沖縄】
名幸 俊海
古屋 政美
【日本】
康至 康
平岡 昌高
菊池 節夫
松本 仁
土屋 勝俊
奥島 孝康
河合 孝俊
行武 孝人
松田 美歌
福原 有一
大藪 智士
茂木 達郎
柳 英治
額谷 征幸
戸高 有基
廣瀬 佳米
本郷 順子
栗田 哲郎
西尾 亜希子
BS広島県連盟
神明幼稚園
Chubb損害保険(株)
（株）JTB
米沢電気グループ

【佐賀】

原口 誠
石井 二三夫
【長崎】
小鳥居 表
【熊本】
吉田 日出輝
【大分】
戸高 有基
佐藤 公一
【宮崎】
豊秀 昌彦
河野 一平
橋田 和実
小倉 和彦
黒木 省子
（株）平下産業

【鹿児島】

内藤 宗保
藤岡 義道
川畑 善照
田中 俊實
伊東 清寛
（株）ミズホ商会
【沖縄】
名幸 俊海
古屋 政美
【日本】
康至 康
平岡 昌高
菊池 節夫
松本 仁
土屋 勝俊
奥島 孝康
河合 孝俊
行武 孝人
松田 美歌
福原 有一
大藪 智士
茂木 達郎
柳 英治
額谷 征幸
戸高 有基
廣瀬 佳米
本郷 順子
栗田 哲郎
西尾 亜希子
BS広島県連盟
神明幼稚園
Chubb損害保険(株)
（株）JTB
米沢電気グループ

【佐賀】

原口 誠
石井 二三夫
【長崎】
小鳥居 表
【熊本】
吉田 日出輝
【大分】
戸高 有基
佐藤 公一
【宮崎】
豊秀 昌彦
河野 一平
橋田 和実
小倉 和彦
黒木 省子
（株）平下産業

本間 日出夫
【千葉】
新井 康弘
鈴木 町枝
【神奈川】
齊藤 彰
【山梨】
藤森 静男
【東京】
小林 司

【宮城】

松岡 大介
日下 清
中橋 邦

【埼玉】

岡田 良一
脇田 大輔
脇田 一利
中村 考一
水書 祐美子

【宮城】

松岡 大介
日下 清
中橋 邦

【埼玉】

岡田 良一
脇田 大輔
脇田 一利
中村 考一
水書 祐美子

【宮城】

松岡 大介
日下 清
中橋 邦

【埼玉】

岡田 良一
脇田 大輔
脇田 一利
中村 考一
水書 祐美子

【宮城】

松岡 大介
日下 清
中橋 邦

比地原 草平
深見 泰子
草野 恵二
【新潟】
渡辺 明紀
【富山】
富山 遼
【愛知】
柴山 力
河村 武人

【滋賀】

堀池 雄司

【京都】

谷口 平八郎

【奈良】

村田 禎章
西村 泰紀
八頭司 昭久
【和歌山】
荻野 昭裕

【大阪】

中井 宏
【山口】
岡寺 信政
【福岡】
靖行 秀樹
荒木 秀樹
【佐賀】
馬場 久和

【大分】

戸高 有基
【日本】
和田 勝久
大浦 秀樹
磯山 友幸
宇都 康平
弓場 康平
圓入 智仁

【大分】

戸高 有基
【日本】
和田 勝久
大浦 秀樹
磯山 友幸
宇都 康平
弓場 康平
圓入 智仁

【大分】

戸高 有基
【日本】
和田 勝久
大浦 秀樹
磯山 友幸
宇都 康平
弓場 康平
圓入 智仁



マンスリーサポート維持会員

11~12月に入会または1年継続されたの方々です。
毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。



<https://www.scout.or.jp/support/>



アイコン説明

- 舎営ができる
- 携帯電話が使える
- 食事施設がある
- 駐車場あり
- 川遊びができる
- 男女別のトイレがある
- 営火ができる
- その他

神奈川県相模原市緑区佐野川1822

都心から70分のリフレッシュゾーン **桐花園**

<http://www.tokaen.jp>



この号持参でキャンプファイアをサービス!!

相模湖に近く、陣馬山、生藤山の麓に位置する緑に囲まれたキャンプ場です。

カブパック ※2泊以上 小人 ¥6,500 (1泊3食・税込)・寝具お持ち込みの場合 ¥6,000 (税込) / 大人 ¥7,000 (1泊3食・税込)・寝具お持ち込みの場合 ¥6,500 (税込)。
 *バンガロー・寝具(シーツ付)・入浴・食事付
 *3食の中で一部自炊やカブ弁当も料金内で可能です。



T 0426-87-2239
 F 0426-87-3159
 M info@tokaen.jp

■収容人数/バンガロー・キャビン200人[35棟]、民宿・キャンプ所80人、テント[10張] ■営業期間/通年 ■アクセス/中央自動車道相模湖ICより4km、JR中央線藤野駅より送迎あり



福島県耶麻郡裏磐梯五色沼入口1074-511

磐梯山一望 6,000坪 **みちのくキャンプ場**

<http://www.r-michinoku.com>



T 0241-32-2109

F 0241-32-3000

M rim@agate.plala.or.jp

五色沼へ徒歩7分 リゾートインみちのく 60名収容 各種イベントご相談ください

- ・標高800mの裏磐梯は山と湖の国
- ・多彩なプログラム作成が魅力
- ・80帖の多目的ホール完備(雨対策)
- ・みちのくマイクロバス(29人乗)所有
- ・コース間の送迎もスムーズに!!
- ・キャンプファイヤー場有り
- ・磐梯山一望の露天風呂(檜・岩)有り
- ・野営・舎営の合同キャンプも可能
- ・ぜひ、下見にお越しください



磐梯山一望



リゾートインみちのく60名収容

■収容人数/野営場6,000坪 ■営業期間/通年 ■アクセス/磐越自動車道猪苗代・磐梯高原ICよりクルマで20分。JR猪苗代駅より東都バスで五色沼入口下車、徒歩7分



6,000坪の野営場は自然豊かな高原リゾート

2023 No.755
5

SCOUTING **次号予告** 次号の『スカウティング』は、令和5年5月1日発行
スカウティング、新時代——

2023年度は新しい中長期計画の初年度にあたります。10年先を見据えて始める新年度の事業計画を含め、団運営・隊活動を支える最新情報をお届けします。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』担当

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 電話 03-6913-6262 (代表) Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定/本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの投稿をお待ちしております。

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 『スカウティング』2023年3月号 No.754 令和5年3月1日発行(奇数月1日発行)
 発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

「スカウティング」は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は回での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月~8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月~翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号~9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局「スカウティング」担当にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくは日本連盟 Web サイト <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2023 / 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局広報担当(代表 TEL: 03-6913-6262)までご連絡ください。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

SCOUTING

デジタル配信しています!

機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひ活用ください。



URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

NEW ITEM!!

オリエンテーリング コンパス 1N SCOUT

販売
価格 **2,200円** (税込)

読図のために必要な機能を追加した、
スカウトマーク入りの特注コンパスです。
日本国内の磁北線の角度を書ける角度線や、
2cm 方眼、定規などの機能を盛り込みました。
方位リングはルミノール蓄光になっており、
夜間でも視認可能です。

■商品サイズ (H×W×D) : (84×54×10mm) ■重量 : 27g

好評販売中！商品詳細は公式オンラインショップへ

【 SCOUT SHOP JAPAN 】 <https://www.scoutshop.jp/>

※画像はイメージです



次号では25WSJ オフィシャルグッズの 一般発売情報を掲載予定。乞うご期待！



SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan

各商品の発売情報や詳細は、各販売協力店や、ホームページ、各種 SNS、ONLINE SCOUT SHOP のメールマガジンでお知らせしていきますので、ご確認ください。

人も地球も健康に
Yakult

世界で飲まれている、 ヤクルトの 乳酸菌 シロタ株。



ヤクルトの「乳酸菌 シロタ株」は、生きたまま腸までとどく。あなたの腸にも、遠いあの国のひとの腸にも。「乳酸菌 シロタ株」は、いまや日本を含む世界40の国と地域^{*}で飲まれています。

^{*}2022年3月時点

株式会社ヤクルト本社

[商品に関するお問い合わせ] **0120-11-8960** イイ ヤクルト 携帯電話からは ☎0570-00-8960 (有料)へ
ヤクルトお客さま相談センター 受付時間 10:00~16:00 (土日・祝日・夏季休業・年末年始等を除く) ^{*}時間を短縮しております。

SCOUTING 2023/3

754

スカウトイング
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
令和5年3月1日発行 (奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ホーイスクウト日本連盟
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 ¥200 (税込)
郵便振替 00130-1-56119
口座名義 公益財団法人ホーイスクウト日本連盟

